

茨城太陽光発電事業への出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機関）は、株式会社スマートテック（所在地：茨城県水戸市 代表取締役：小寺雄三）が水戸市の市有財産を活用して行う太陽光発電事業に 40 百万円の出資を決定致しましたのでお知らせします。

本事業は、水戸市市有財産を活用して、市の公募により選定された㈱スマートテックにより行われるものであり、複数のサイトに設置する小規模分散型の太陽光発電事業です。

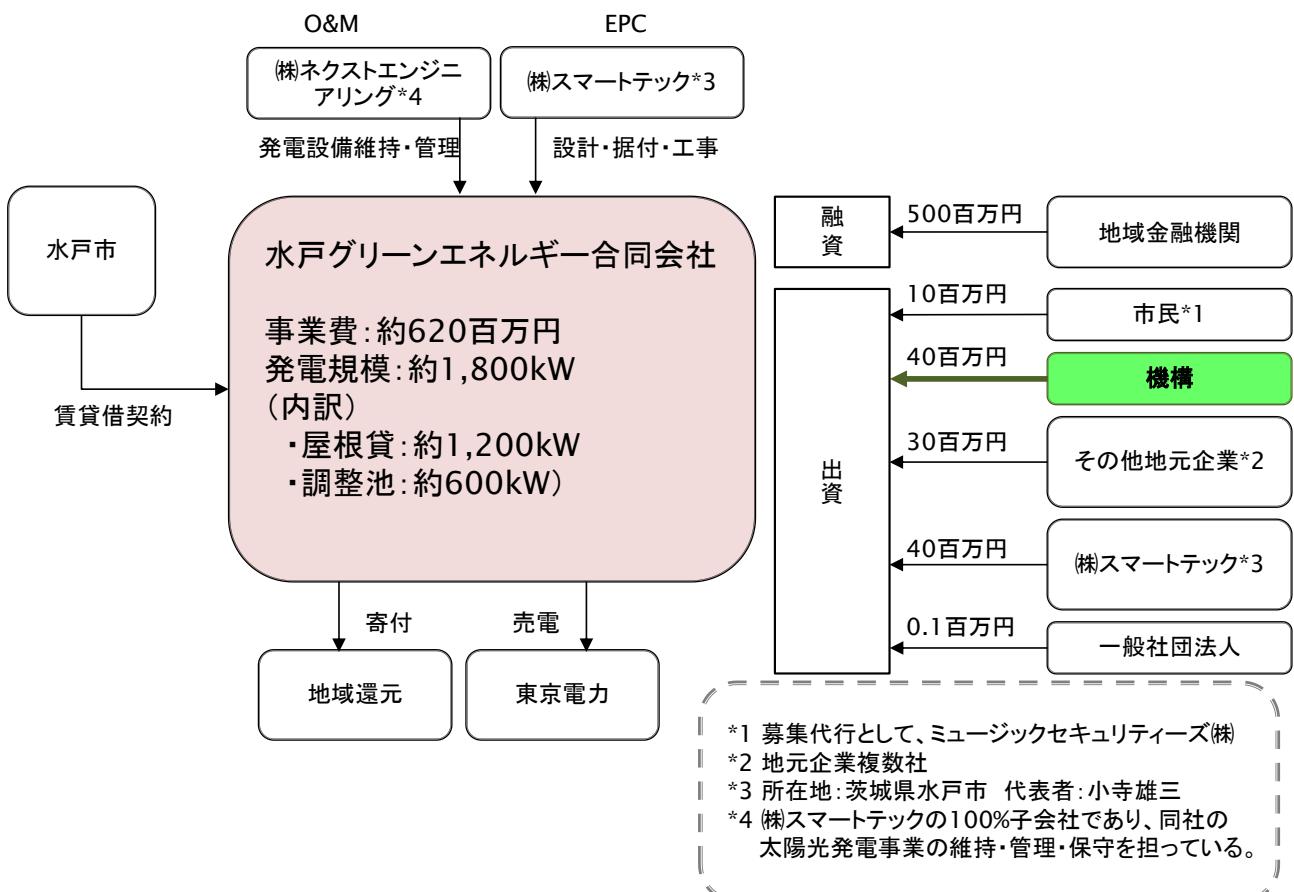
具体的には、小学校・保育所等の屋根を対象とした屋根貸太陽光発電事業と、調整池を対象とするフローティングタイプの架台を採用したフロート式^{*1}太陽光発電事業です。

屋根貸太陽光発電事業は、水戸市の指定避難所である小学校等にも設置することで災害時の非常用電源としても活用でき、加えて児童・園児に対する環境教育の観点からも地域貢献度が高いものです。一方、フロート式太陽光発電事業は、国内でも事例が少ない水面上を有効活用できる点を評価しました。

機関は、上記の各種地域貢献が見込まれること、機関の出資が民間資金の呼び水となることに鑑み、出資決定致しました。

*1 フロート式とは、アンカーで水底に固定した架台を使用し、太陽光パネルを水上に浮かべる方法

1. スキーム概要



(説明)

- ① 本事業の SPC である水戸グリーンエネルギー合同会社に、メインスポンサーである(株)スマートテックが約 40 百万円、機構が 40 百万円、その他地元企業から約 30 百万円、地元市民から約 10 百万円を出資します（融資は地域金融機関で約 500 百万円を予定）。
- ② SPC は上記資金を利用し、(株)スマートテックが太陽光発電所を建設し、稼働後は(株)ネクストエンジニアリング（(株)スマートテックの 100%子会社）が発電設備の維持・管理・保守を担います。

2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 屋根貸太陽光発電事業の設置場所が小学校等の指定避難所であり、災害時の非常用電源としても活用できること、またフロート式太陽光発電事業は、陸上太陽光発電事業に比べて普及が進んでいない分野であり、本件が普及促進の一助となり得ること。
- ② 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO₂ 削減効果は、1,156t-CO₂/年を想定しています）。
- ③ 事業者は SPC の収益を地域の環境教育等に還元することを計画しており、地域活性化に資すること。

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>
